

理化学研究所次世代スーパーコンピュータ開発実施本部 プロジェクトリーダー、プロジェクトリーダー補佐、 開発グループメンバーについての補足

プロジェクトリーダー：渡辺 貞(プロジェクトを統括)

(平成10年に米国電気・電子技術者学会(IEEE)および米国計算機協会(ACM)共同制定の「エッカート・モークリー賞」を日本人として初めて受賞。本賞は昭和54年、世界最初のコンピュータといわれるENIAC(エニアック、昭和21年完成)の共同発明者として有名なJ・プレスパ・エッカートおよびジョン・W・モークリーの名前を冠して創設され、コンピュータの基本仕様(アーキテクチャ)の分野における非常に高い貢献が認められた者1名に対し毎年贈られている。)

客員研究員(プロジェクトリーダーを補佐)

河辺 峻 明星大学情報学部教授

(株式会社日立製作所在籍時に、「S-810/820」を始めとする同社のスーパーコンピュータのハードウェア開発を統括。筑波大CP-PACSの開発に参画。)

高田 俊和 日本電気株式会社基礎・環境研究所主席研究員

(ローレンスバークレイ研究所、シカゴ大学での博士研究員を経て現職。同社における量子化学計算分野の研究を統括し、分子軌道計算ソフトウェアを開発。物理分野の国際学会:IUPAP C20(計算物理学)のコミッションチェア等を歴任。)

三浦 謙一 情報・システム研究機構国立情報学研究所リサーチグリッド研究開発センター教授

(富士通株式会在籍時、VPシリーズからVPPシリーズにいたるまで同社のスーパーコンピュータの製品戦略、国際戦略を担当。富士通アメリカ社のスーパーコンピュータ部門の副社長、HPC本部技師長、研究所フェロー等を歴任し、平成15年度からは、現職にてNAREGIプロジェクトを研究代表者として統括。)

開発グループ(計算機システム開発を担当)

姫野 龍太郎 開発グループ グループディレクター

(理研情報基盤センター長として、先進的かつ高性能な理研スーパーコンバインドクラスタを企業と共同で平成12年度に開発し、その成果は、第34回日本産業技術大賞文部科学大臣賞を受賞。日本機械学会・学会賞(奨励賞)および計算力学部門業績賞等を受賞)

横川 三津夫 開発グループ ハードウェア開発チーム チームリーダー

(日本原子力研究所(当時)在籍時、地球シミュレータ開発計画に主導的な立場で参画、地球シミュレータ完成に多大な貢献。地球シミュレータ性能確認のために実施した10km格子大気大循環シミュレーション及び世界最大規模乱流シミュレーションの成果に対しSC2002(平成14年米国ボルチモア)において、ゴードン・ベル賞3賞(最高性能賞、言語賞、特別賞)を受賞。)

花村 光泰 開発グループ アプリケーションソフトウェア開発チーム チームリーダー

(日本電気株式会在籍時に、分子軌道計算法や数値計算ライブラリ等の開発を担当、NEC Solutions AmericaのHPC技術部門(ATCC)のディレクター等を歴任し、同社のスーパーコンピュータ製品計画を主導的に推進。平成18年8月から現職。)